

[標準様式例 7-3]

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	平成22年度建設副産物再利用方策等検討業務
業 務 概 要	本業務は、平成20年度建設副産物実態調査の結果を基に、関東地域における建設副産物のリサイクルの現状、課題を分析し、「建設リサイクル推進計画2008（関東地域版）」のフォローアップを行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 菊川 滋 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
契 約 年 月 日	平成22年11月18日
契 約 業 者 名	(株) 日本能率協会総合研究所
契 約 業 者 の 住 所	東京都港区芝公園3-1-22
契 約 金 額	¥4,998,000円 (税込み)
予 定 価 格	¥5,124,000円 (税込み)
随意契約によることとした理由	本業務は、平成20年度建設副産物実態調査の結果を基に、関東地域における建設副産物のリサイクルの現状、課題を分析し、「建設リサイクル推進計画2008（関東地域版）」のフォローアップを行うものである。 本業務の履行にあたっては、建設副産物のリサイクルに関する専門的な技術と知識を必要とすることから簡易公募型プロポーザル方式により選定が行われた。 株式会社日本能率協会総合研究所は、技術提案書において総合的に最も優れた提案を行った業者であり、上記業者と契約を行うものである。
業 務 場 所	関東地方整備局管内
業 種 区 分	土木コンサルタント関係
履 行 期 間 (自)	平成22年11月19日
履 行 期 間 (至)	平成23年3月18日
備 考	

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。